第 103 期

株　主　通　信

(中間報告書)

2026年 3 月 1 日から

2026年 8 月31日まで

株 式 会 社 歌 舞 伎 座

証券コード：9661

株主のみなさまへ

平素より株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今期は、昨年来の歌舞伎人気に応えるべく、さらなる伝統の継承と次世代への発展を見据えた魅力ある興行が展開され、多くのお客様に歌舞伎座へ足をお運びいただいております。

当社グループも、劇場にお越しいただくすべてのお客様にご満足いただけるよう、格別で贅沢な空間づくりと、歌舞伎座ならではの趣向を凝らした食やサービスの提供に全力を尽くしてまいりました。

上半期の堅調な業績をさらに発展させ、下半期も持続的な成長を遂げるよう努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
安孫子　正

2026年11月

上半期の事業概況

2026年3月から8月の歌舞伎座公演は、通し狂言など古典の名作や、團菊祭・納涼歌舞伎など恒例となった公演が並ぶ見どころ豊かなラインナップが展開されました。特に、配役ごとに異なる解釈や表現の深みを堪能できるダブルキャストの上演も話題を集め、若手・花形俳優のめざましい活躍が光る上半期となりました。

当社グループにおきましても、グループ一体となった経営戦略を推進し、各事業において業績の向上に努めてまいりました。特に、毎月の演目に因んだ商品の展開や老舗店フェア、月替わりで販売している弁当類はご好評をいただきました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は1,830百万円、営業利益は183百万円、経常利益は213百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は157百万円となりました。

事業別概況

＜不動産賃貸事業＞

不動産賃貸事業におきましては、3年毎に実施している外部テナントとの賃料交渉による増額改定や、「KABUKIアドボード」のバナージャック利用による大型広告出稿の誘致など、収益向上に繋がる施策を推進いたしました。

施設面では、安全面を重視した営繕保守として、地下駐車場における管制装置（車番認証機、料金管理用PC）の更新や、エスカレーター保全整備を実施いたしました。さらに、環境負荷低減に繋がる取り組みとして、共用部照明のLED化工事を順次進めてまいりました。

また、昨今の気候変動への備えとして、災害備蓄機材（充電式投光器等）の拡充や、地域と一体となった災害訓練に参画し防災意識を高める活動を行ってきました。

一方、来館者数向上に向けて、『歌舞伎座 着物の日』では5階テナントの運営会社に特典付きプランの提供や「着物お直しサービスコーナー」設置のご協力をいただくなど、当社グループのみならず外部テナントや地域の方々と連携した施策を積極的に展開してまいりました。

引き続き、利用者のみなさまに安全・安心、そして快適な環境を提供できるよう尽力してまいります。

以上の結果、売上高は1,002百万円、営業利益は313百万円となりました。

＜食堂・飲食事業＞

食堂・飲食事業におきましては、「歌舞伎座の食文化の継承と発展」を旨に、様々な施策に取り組んでまいりました。

３階お食事処「花篭」では、月毎に演目やゆかりの地に因んだ旬のメニューを取り揃えるとともに、昼夜の食事時間帯以外の有効活用として、アフタヌーンティーや落語の会、トークショーなどのイベントを定期的に開催いたしました。なかでも7月の「歌舞伎座ビアダイニング」は、ジャズの生演奏とドリンク飲み放題・特製おつまみセットをお楽しみいただき、今後の事業展開に向けた弾みとなる初めての取り組みとなりました。

劇場各階のドリンクコーナーでは、季節や好みに合わせ、春・夏のスパークリングワインや生ビール、冷し抹茶などが売上を伸ばしました。特に3階「花篭Bar」では、外の景色を眺めながらお酒を楽しめる快適な空間作りに努め、リピーターの獲得に繋げることができました。

喫茶室「檜」では、定番メニューに加え、「アールグレイあんみつ」「俳優プロデュースのかき氷」などバラエティー豊かなメニューを揃え、お弁当処「やぐら」でも、「襲名弁当」をはじめ、季節感豊かなお弁当を月替わりで用意し集客に努めたほか、店舗の間口を広げる改修工事を実施して、お客様の利便性を高めました。

さらに、銀座の地域貢献として、8月には「ゆかたで銀ぶら2026」の歩行者天国イベントに飲食屋台を出店し、販路拡大に努めました。

以上の結果、売上高は391百万円、営業利益は29百万円となりました。

＜売店事業＞

売店事業におきましても、当上半期は売上・利益ともに堅調に推移いたしました。

劇場1階お土産処「木挽町」では、5月の襲名記念グッズをはじめ、演目やその土地に因んだ商品を毎月展開いたしました。なかでも「歌舞伎揚」「レインボーラムネ」「柿もなか」、演目のポスターなどの定番商品や、全国老舗和菓子の限定販売も大変人気があり、全体の売上を大きく伸ばすことができました。

木挽町広場におきましては、観劇の有無を問わず楽しめる賑わい空間の創出を目指し、多角的な店舗運営を行ってまいりました。外国人観光客向けのコーナーでは、マグネットや絵葉書などが人気を集めているほか、「ねこ展」「アンティーク展」「陶器市」といったバラエティー豊かなイベントを定期的に開催し、さらなる集客に努めました。

外販事業では、歌舞伎公演が行われる他劇場や大手商業施設にも積極的に出店し、新たな販路を拡大いたしました。

宣伝・広報活動としては、公式サイトに加え、X、Instagram、LINEなどのSNSを活用し、店舗・商品・催事の最新情報を随時発信し、来店促進に繋げております。

以上の結果、売上高は437百万円、営業利益は96百万円となりました。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：千円）

科　　目	2026年2月期	2027年2月期(中間期)	科　　目	2026年2月期	2027年2月期(中間期)
資産の部			負債の部		
流動資産	2,792,737	2,896,790	流動負債	1,018,699	976,488
固定資産	21,533,753	21,090,450	固定負債	11,939,979	11,708,322
有形固定資産	12,854,746	12,672,378	負債合計	12,958,678	12,684,810
無形固定資産	2,627,307	2,624,469	純資産の部		
投資その他の資産	6,051,699	5,793,601	株主資本	9,588,074	9,684,557
資産合計	24,326,491	23,987,240	その他の包括利益累計額	1,779,738	1,617,871
			純資産合計	11,367,812	11,302,429
			負債純資産合計	24,326,491	23,987,240

連結損益計算書

（単位：千円）

科　　目	2026年2月期(中間期)	2027年2月期(中間期)
売上高	1,788,008	1,830,955
売上原価	1,301,015	1,363,485
売上総利益	486,993	467,469
販売費及び一般管理費	270,026	283,483
営業利益	216,966	183,986
営業外収益	25,517	31,717
営業外費用	2,899	2,343
経常利益	239,583	213,361
特別損失	-	27,205
税金等調整前中間純利益	239,583	186,155
法人税等合計	52,844	29,074
中間純利益	186,738	157,081
親会社株主に帰属する中間純利益	186,738	157,081

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　　目	2026年2月期(中間期)	2027年2月期(中間期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	482,212	232,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,602	△99,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,938	△61,089
現金及び現金同等物の増減額	377,671	71,404
現金及び現金同等物の期首残高	2,034,520	2,570,307
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,412,191	2,641,711

会 社 情 報 (2026年8月31日現在)

商号	株式会社歌舞伎座
設立	1949年11月
資本金	2,365,180,000円
発行済株式総数	12,170,000株
株主数	6,284名
公告掲載ＵＲＬ (プレス等開示情報)	https://www.kabuki-za.co.jp/annai (ただし、電子公告ができない事由が生じたときは、官報にて行います)
事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	定時株主総会の議決権、期末配当：2月末日 (中間配当を実施するときは8月31日)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同 連絡先	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）　土・日・祝日を除く　9：00～17：00

役員	代表取締役社長	安孫子　正	
	常務取締役	田中智明	
	取締役	大谷二郎	
		小平　健	(社外取締役)
	常勤監査役	長尾卓史	(社外監査役)
	監査役	鈴木太一郎	
		井ノ上正男	(社外監査役)

株主優待のご案内

優待内容

劇場歌舞伎座の観劇ご招待（１・２階席）

株主優待基準日・期間

株主優待基準日	優待対象期間
毎年２月末日	６月公演～１１月公演分
毎年８月31日	１２月公演～翌年５月公演分

優待基準

所有株式数	６ヶ月間優待枚数
150株～	１枚
450株～	３枚
750株～	３枚
1,000株～	４枚
1,500株～	６枚
2,000株～	８枚
3,000株～	12枚
5,000株～	18枚

「150株～、450株～」は年間枚数となります

■ 株主様ご招待イベント（150株以上ご所有の株主様）

株主様限定のイベントを開催しております（申し込み抽選制）

2026年 2月 「歌舞伎俳優　特別芸談」（開催済み）

2026年11月 「歌舞伎俳優　特別芸談」（申し込み終了）

株式会社歌舞伎座

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目12番15号
電話（０３）３５４４-１０７５

UD FONT